



地域おこし協力タイムス

現在市で活動している地域おこし協力隊6人の隊員が交替でお届けします。第2回は観光化推進員（台湾向け交流促進コーディネーター）の小川ちひろさんです。

初めまして、小川ちひろです。市の地域おこし協力隊員となってもうすぐ1年になります。東京から引っ越してきたのが日高火防祭の当日。駅前の商店街はたくさんの人であふれ、初めて見るお囃子の屋台がまぶしくて、そんな中「今日からこの街で新しい生活が始まるんだ」とかみ締めたのを覚えています。

今回は、私が所属しているプロジェクトチーム「Walk on Soil」を紹介します。直訳すると「土の上を歩く」。コンクリートの上を歩き情報社会に生きる都心部の人たちに向けて、自らの足でその土地を歩き、インターネット上の情報や写真だけでは伝わり切らない、人と自然、風土などそこにしかないストーリーを私たちのフィルターを通し“小さな旅”として伝えていくというコンセプトです。

この1年間は、まずは私自身が“小さな旅”を体験する年でした。奥州のさまざまな場所へ行き、たくさんの人を紹介していただいたことで、東京では出会えなかった“ヒト・モノ・コト”との関係を持つことができました。

これから、オーストラリアや台湾に住んだ経験も生かして、国内の都市部だけでなく海外の国々と奥

州をつなげるパイプ役になればと思います。いずれは東京で奥州を発信するベースを作り、3年の任期が終わっても「Walk on Soil」を続けられるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私が企画したイベントのお知らせです。

NHKラジオ深夜便に出演している音楽家、守時タツミさんのピアノコンサートを正法寺で開催します。守時さんは私の友人で、去年の夏に奥州に遊びに来てくれた際、水沢駅の南部風鈴や江刺梁川のセミの声、衣川の滝のせせらぎなどたくさんの音を耳にし、そこから奥州の曲を作ってくれました。多くの皆さんに、音を通して奥州の魅力を感じてもらいたいです。

景色の見える音楽会 in 奥州

■日時 5月12日(日)午後1時半開演

■場所 正法寺本堂

■料金 大人2,500円、小学生以下1,500円※別途拝観料大人500円、中学生300円、小人200円が必要

■取扱先 Cafe & Living Uchida

市文化会館（Zホール）、江刺体育文化会館（ささらホール）、前沢ふれあいセンター、胆沢文化創造センター、またはメールで申し込み（☐info@walkonsoil.jp 件名に“チケット申し込み”、本文に氏名・購入枚数・電話番号・住所・メールアドレスを記入）

■問い合わせ 「耳をすまして」実行委員会 ☎090-4615-6877





おうちしゅう 羅針盤

各地で花の便りが聞かれる頃となりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

3月7日に、文部科学省は「ILC計画に関心を持って国際的な意見交換を継続する」とする見解を示しました。政府がILCに関心を示したのは初めてのことであり、この見解を高エネルギー物理研究の世界各地の専門家で構成するICFAは前向きに受け止めたと認識しています。市では、両見解を歓迎し、日本政府が誘致を表明することを期待しています。今後もILCへの理解が深まり、広く支持を得られるような取り組みを全力で進めてまいります。

先月、72年の歴史と伝統を誇る田原中学校の閉校式が行われ、地域住民と共に感謝の思いと新たな道への決意を示しました。地元の子どもたち



おうちしゅう 羅針盤

市内の商工団体や体育協会などと官民一体で発足した大谷翔平選手ふるさと応援団は、新たに市内の企業や団体を対象としたサポーターを募集することになりました。市内に事務所がある企業・団体であれば無料で登録でき、応援ポスターやステッカーが配布されますので、奮ってご登録ください。これからの大谷選手の活躍につながるように、古里から応援していきます。

4月から各総合支所にグループ制を導入するなど、セクションの見直しを行い、組織体制を強化しました。重点政策の課題解決と市民サービス向上を図ってまいります。

市病院事業管理者に岩村正明さんを任命しました。岩村さんは、医療と介護に精通し、豊富な行政経験があります。現在、策定作業を進めている地域医療計画や市立病院の経営に、持てる力を発揮してほしいと思います。

奥州市長 小沢昌記



希望のひかり 第65回

ILC（国際リニアコライダー）計画の各種最新情報をお届けします

専門家によるILC解説セミナー開催

東北ILC準備室（室長・鈴木厚人^{あつひと} 県立大学長）は3月17日、江刺総合支所で住民向けセミナーを開き、施設概要や安全確保策などを解説しました。県の佐々木淳^{あつむ} 理事がILCを巡る最近の社会情勢を説明。3月7日に表明された政府見解に触れながら、「国内においては、日本学術会議が策定するマスタープランのプロセスを踏むことになる。これが来年の2月に取りまとめられる。国外に関しては、欧州の素粒子物理戦略が来年の5月に取りまとめられる」と語り、来年の2月と5月が一つの大きな節目を迎えるとの見解を示しました。

また、高エネルギー加速器研究機構の道園真一郎^{まこと} 教授ら研究者3人がILCと放射線・放射能の関係について解説。ILCで放射性物質が最も多くできる場所とされている「ビームダンプ（ILCのビームを安全に停止させる装置）」の管理については、①放射化した水は、限定区域内で循環させ、排出しない②漏水を検知し遮断するシステムを備える③地震・停電時など、万が一の漏水に対しても回収する仕組みや貯水槽を備えるとし、多重の拡散防止対策で周辺環境に影響を与えないよう、設計・運用していくという考えを説明しました。

市議連 ILC看板設置(水沢南中) ~ ILCの可能性は無限大∞ ~



市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟（渡辺忠会長）は、ILC誘致への機運醸成と普及啓発を図るため、市内中学校作成イラストによるPR看板の設置を進めてきました。3月に水沢南中学校（久慈孝校長）の看板が完成したことで、市内全中学校区にILC看板が設置されたこととなります。



昨年のSUP体験

ILC国際化推進員 トマス・アンナの

あんなことこんなこと

ILCにまつわる話題や、アンナさんの目線で見た本市の姿などをお届けします。今回のテーマは「アウトドア」です。

東北の各地でよく「ここには何もない」という発言を耳にします。奥州市も例外ではありません。国立天文台の水沢キャンパス、有名な前沢牛や江刺りんご、後藤新平さんに大谷翔平選手の奥州市なのに「何もない」と。「何もない」という理由はたくさんありますが、その一つが「アウトドア」です。私の毎年の最高の楽しみは、自転車で国道397号をひめかゆ温泉辺りまで走ってことです。季節によって満開の桜やほんによを眺めながら、木造の若柳小学校や胆沢版自由の女神に出会い、新鮮な空気を吸って自然を満喫します。登りはちょっときつ

いですが、徳水園でのソフトクリームや温泉の入浴などのご褒美を楽しみにしながらぐんぐんこぎます。最後にすーっと下つての帰宅です。奥州市はアウトドア天国です。アップダウンの少ないマラソンコース、オリンピックコーチも注目する水流の激しいカヌー競技場、初心者でも安心してSUPなどを体験できる静かな池一。大都市ならではの魅力もありますが、大都市にはない田舎の魅力もたくさんあります。「何もない」所は存在しません。必ず宝があります。車から降りて、辺りをじっくり眺めてみるときっと見えてきますよ。

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。お問い合わせ先：本庁 ILC推進室 ☎34-2123 ☎024-2123 ☐ilc@city.osu.iwate.jp